

**令和6年度 第2回 西宮市スポーツ推進審議会
(議事録)**

日時： 令和6年12月17日(火) 午後2時00分 ~ 午後3時30分

場所： 西宮市立中央体育館 1階 会議室

出席委員：副会長・中村委員、安田委員、角南委員、平野委員、當間委員、米倉委員、佐藤委員、
錦織委員

欠席委員：会長・小坂委員、林委員、徳村委員、

事務局出席者：田中文化スポーツ部長兼運動施設整備担当課長、越知文化スポーツ課長、文化ス
ポーツ課(係長：角柿、主査：山村、副主査：植田)

傍聴者：なし

【開会挨拶】

越知文化スポーツ課長よりご挨拶。

【委員紹介】

安田委員、當間委員より自己紹介。

進行を中村副会長に交代。

<議事内容>

○ 【報告事項】(ア) 関係団体に対する来年度の補助金の交付について

【事務局】

(資料に基づき説明)

一般財団法人西宮市体育協会補助金について

【事務局】

小坂会長よりメールにてご助言。「補助の見直しで、これまでと同様の活動が行えるのであれば問題無いと思う」とのこと。

[委員：スポーツ関係者(市民公募)]

これまでの施設使用料減免総額は3500万円であるが、令和7年度以降、使用料の減免が廃止となり、代わりに補助金を2300万円増額するとのことだが、差額分はどのように使われるのか。

【事務局】

差額については施設使用料としての収入となっており、原則として施設の維持等に使用される。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

体協は納得しているのか。

【事務局】

体協へは何年も前からこの制度については説明しており、了承してもらっている。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

差額は基本的に施設の維持に使われるのか。

【事務局】

基本的には施設の維持である。また、歳入としても取り扱う。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

他市が減免をしているから減免するのではなく、西宮市がどうしたいかが大事である。

[委員：スポーツ関係者（スポーツ医学）]

差額分の用途を記載した方が良いと思う。

【事務局】

本件はコロナ禍を挟んで平成30年から話し合ってきた。中央体育館の建て替えに伴い、受益者負担の考えのもと、施設使用料を一定ご負担いただきたいと依頼した。西宮市は他市と比較して優遇されていたことを理解していたため、承諾いただけた。しかし、大会運営等もあるので、原則半額目途を負担いただくように補助金を交付することとした。加えて、子供の大会等についてはもう少し補助額を上乗せすることとし、全体で6~7割程度補助金を交付することとした。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

補助金は大会に関するものにだけ発生するのか。大会を行わない競技は補助金が発生しないのではないのか。

【事務局】

そのとおりである。ただし、体協の運営補助金を元々500万円ほど補助している。そこで各競技の補助も行っている。あとは体協がどのように補助金を分配するかに委ねられている。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

スポーツを楽しむ人が減らないように対応してほしい。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

補助金がどのように使われているかは市が調べているのか。

【事務局】

補助金については決算報告をしてもらい確認する。

○ **【報告事項】** (イ)「中学校部活動地域移行」業務推進について

【事務局】

(資料に基づき説明)

[委員：スポーツ関係者（スポーツ医学）]

登録団体の審査はあるか

【事務局】

活動場所や会則等を提出してもらい審査を行う予定

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

教育委員会はどれくらい関わるのか

【事務局】

教育委員会が主体となって現在は動いている。担当課もつくられ教育長が座長でプロジェクトチームが発足し、文化スポーツ課もメンバーの一員となっている。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

地域移行した後はどうなる

【事務局】

文化スポーツ課が所管となる

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

地域移行についても学校の管轄だということも示している市もあるがどうか。パワハラ等を気にしている人も多いので、学校教育と絡んでいることを主張し、親御さんへの安心感を与えているところもあるが、そのような検討はされたのか。

【事務局】

課題であると認識している。文部科学省としては、最終的に学校からは離れることを打ち出している。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

学校にはスポーツを通じた教育（集団行動やルールなど）も期待していたが。

【事務局】

単なる技術指導のような形になるようなことは危惧している。スポーツにおける教育的要素を何とか残していきたいと考えているが、そこは今後の検討課題。一方、熱意のある先生については地域移行後も携わって頂くことも可能である。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

教員であろうとなかろうと子供たちに関わるのであればきちんとスポーツを通じて子供たちを育てていくという意識を持っていただきたいと考えているが、周知方法はどうなるのか。また、きちんと説明できるのか

【事務局】

教育委員会主導で学校に出向いて保護者説明に行き説明する予定である。また途中で切り替わることについてもプロジェクトチームで話し合っているところである。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

教師も引き続き地域クラブで教えることもできるということだが、教師が地域クラブを立ち上げたときに謝金の回収等、運営は立ち上げた教師がおこなうのか。保険についても、これまでは学校教育の保険で対応できたが、今後は地域クラブ活動の為に保険対応もする必要があるのか。

【事務局】

そうだ。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

これまで以上に対応が大変になる中で、教師がこれまで通り指導に当たることはできるのか。学校や先生へ手厚く対応していく手だてを考えていかないとこれまでと同じような子供たちへの平等な機会提供ができないのではないか。今のままでは勝手にやりなさいというような聞こえ方しかない。やりたい先生がいても、これだけハードルが高いとやりようがない。この前の行政説明ではそのように聞こえたとし、これでは無理だという声も上がった。もう少しスムーズに移行できるように手だてを考えていただきたい。

【事務局】

貴重なご意見有難うございます。教育委員会とも共有させて頂く。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

先生が登録団体になるのは大変だと思う。教員には対応しきれない部分（謝金・保険対応等）が多すぎる気がする。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

赤字運営になることは重々承知しているが、移行期については教師へも丁寧にご案内をして頂けるとありがたい。何かしら立上げの補助などがあった方が良いと考えている。

【事務局】

市も移行についてはスムーズに行いたいと考えている。市も子供たちの為に過渡期的措置等を検討したい。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

移行のスケジュール感は他市も同様か。

【事務局】

そうである。土日と平日の移行を同時にするか別々かというところは市による。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

他市とスケジュール感がずれるのであれば、西宮市民が他市へ流出することで不利益を被らないように他市の動向を見てほしい。

【事務局】

承知した。

【事務局】

人材と場所の取り合いも起こると思うので考慮していかなければならない。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

大会について、学校名で出場して、全国につながっていくものがこれからどうなっていくのか。少なくなるのではないか。また、これまで学校の伝統として残ってきた大会が無いような少人数のクラブがなくなっていくのではないかと懸念している。

【事務局】

大会の在り方も変わっていくと思う。地域移行が全て行われれば学校名で大会に出ることがなくなると思う。

【事務局】

多世代で行われるようなプレミヤを目指しており、ニッチな競技も団体登録してほしいと考えている。当課でもいろいろな団体へ団体登録の提案を行っているところである。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

私立も地域移行するのか。

【事務局】

対象は国公立になる。私立に通学している子供も地域クラブへは参加可能。

【事務局】

大会については各競技団体で話し合われているがまだ結論が出た団体はないと教育委員会から聞いている。現在先生が大会を運営しているところが多いので今後どうなるかが協議されている。

〔副会長〕

登録団体が全て競技志向になってしまったらプレミヤの理想が崩れてしまうのではないか。レクリエーション中心の団体等のいろんな団体が出てくるようにしなければならない。また、指導しやすい環境も提示しなければならない。先生に既存の団体に入ってもらおう等、先生が指導しやすいように制度設計してほしい。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

現在の部活に入っている人数は把握していると思うが、把握している地域クラブ数で賄えるのか確認することが必要である。

地域クラブの立ち上げは大変なのでスポーツセンターのコーディネーター機能が大事になってくる。これは今までにある業務なのか。

【事務局】

初めての試みである。公益性を鑑みた結果、スポセンが妥当だと考えている。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

体協はどこに入ってくるのか。

【事務局】

地域スポーツ団体になる。各協会から各種目の地域クラブを作ってもらうようお願いしてもらうことを期待している。また、体協から指導者個人を地域クラブへ派遣してもらうことも期待している。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

スポセンの機能と被るところがあるのでは？登録料を払うのであれば、先生がクラブの立ち上げを行う際のマネジメント機能もスポセンに設けてほしい。

【事務局】

登録料については当面取らない予定である。

【事務局】

スポセンにマネジメント機能を持たせたい気持ちはわかるがスポセンも専門家ではないので税金の取り扱い等を全て教えるのは難しく感じている。これまで部活動顧問としての先生方ができていないマネジメント機能をどのようにしていくかは課題と感じている。

〔副会長〕

民間で行政の力を借りず団体の立ち上げをしてくれたらいいですね。

〔委員：学識経験者〕

指導者不足が大学でも問題になっており、なり手不足である。地域クラブでも指導者が集まるのか、質は担保されているのかを懸念している。指導者の質を保てず、事故などが起きないようにしてほしい。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

指導者は西宮市民限定ではないのか。

【事務局】

限定ではない。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

他都道府県で問題を起こした指導者が西宮へ来るときに注意しなければならない。

【事務局】

最後に、この審議会の場を借りてになるが、委員の皆さま、団体の登録に向けてご協力いただけるようなことは何かないか。例えば、「あの団体なら登録してくれそうなので声を掛けてみる」など何だって構わない。多くの方のご助力があって、この施策は今後成り立っていくのだろうと考えている。何かご協力賜れば幸いである。何卒宜しく御願いたい。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

体育協会の協会や連盟にはすでに当たっていると思うが、神戸では競技部の中で話し合っすすめしているところである。今後、西宮市体協でも競技部で話し合ってもらうことが必要にあると思う。

○ 【その他】

〔越知課長〕

それでは本会を終了とする。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

以上